

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立古千谷小学校 校長 吉川 浩司

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調に、自他の生命を尊び、豊かな知性と感性を備えるとともに、国際感覚をもった心身ともにたくましい、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

○よく考え がんばる子 ○ 明るく思いやりのある子 ○ 強い体で 元気な子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ◎③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11705 冊（蔵書基準冊数 10360 冊） / 蔵書率 112%									
	② 新規購入図書 656 冊 / 廃棄図書 1424 冊 / 増減冊数 768 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	5%	7%	12%	4%	4%	7%	4%	53%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	② 開館時間： (前年度からの変更 なし)									
	③ 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 44 冊 (前年度末： 43 冊)									
	④ 1か月に2冊以上読む児童 84% (前年度末： 82%)									

(令和5年度末)

蔵書状況	⑤ 蔵書数 11266 冊（蔵書基準冊数 9960 冊） / 蔵書率 113.1%									
	⑥ 新規購入図書 564 冊 / 廃棄図書 781 冊 / 増減冊数 217 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.3%	1.3%	5.4%	7.0%	12.8%	4.8%	3.6%	7.5%	4.5%	51.9%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	③ 開館時間： (前年度からの変更 なし)									
	⑦ 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 52 冊 (前年度末： 44 冊)									
	⑧ 1か月に2冊以上読む児童 87% (前年度末： 84%)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 校図書館の利用の仕方について知る。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月2回以上読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「1000分」を50%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行う。
目標達成状況	① 週2回の朝学習、月2回以上読書等の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「1000分」を73%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行った。	

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標 ① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「1000分」を60%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行う。
目標達成状況	
① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「1000分」を78%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行った。	
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標 ① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を40%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行う。
目標達成状況	
① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を100%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行った。	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標 ① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を50%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行う。
目標達成状況	
① 週2回の朝学習、月2回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を100%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行った。	

第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標 ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を60%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行う。
目標達成状況	
① 週2回の朝学習、月1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を85%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーションを100%行った。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標 ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	達成基準 ① 週2回の朝学習、月1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を60%の児童が達成する。 ③ 学校図書館オリエンテーション100%行う。
目標達成状況	
① 週2回の朝学習、月1回以上読書や探究活動の授業を学校図書館で行った。 ② 「読書マラソン」の取組を通して年間通算読書時間「2000分」を100%の児童が達成した。 ③ 学校図書館オリエンテーション100%行った。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を2月まで継続的に行った。
- ② 学級文庫を、放課後児童が使う部屋に図書を置いて読書活動の充実を図った。リサイクルの書架棚を配置し古い書架を廃棄することで、児童にとって使いやすいレイアウトに変更した。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 4月学校図書館オリエンテーションの実施や9月の調べ学習コンクール等にむけ、支援員の積極的な連携・協働に取り組んだ。
- ② 日常の調べる学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行った。
- ③ 月1回の業務会議で学校図書館支援員と運営方針の連絡・相談することで連携を深め、児童委員会とも絡め1月福袋のイベントを行うなど明るく楽しい学校図書館づくりを実践した。

【その他】

- ① 図書委員会の児童の読み聞かせをお昼の放送を活用したり、ポスターを掲示したりし、本に興味をもつきっかけづくりと読書の意欲向上を図った。
- ② 貸し出し本の返却を確実にするために見返却リストをつくり担任を通して児童への声掛けを行った。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

朝学習を読書タイムとして読書習慣の定着を図った。日常的な読書の習慣化を目指して学校全体で「読書マラソン」に取り組み、学年目標時間 1000 分から 2000 分達成した児童がたくさんいた。1 か月に 2 冊以上読む児童が 87% に向上するなど、読書活動は盛んに行われた。学校図書館支援員と円滑に連携し、読書環境の整備、読み聞かせ活動の充実が図られた。読書月間には図書委員会企画による低学年への読み聞かせ活動やおすすめ本を福袋にしたイベントを実行するなど、児童が読む本のジャンルを広げることができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

日常的な読書習慣の定着を図るために開かれた学校づくり協議会と連携して「読書マラソン」などの取組が行われ、一定の効果があった。今年度は児童一人あたりの年間平均貸出冊数が昨年度と比べ 8 冊増え、52 冊になった。読書の幅を広げるための図書委員会の取組や学校図書館司書のブックトークで利用が増えたものと考えられる。今後も文章の読み取りを向上させていくために、更に読書習慣の定着を進めていきたい。